

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	京丹波町新庁舎	階数	地上2F
建設地	京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野48	構造	木造
用途地域	都市計画地域 非線引き地区、法22条	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,700 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年1月23日
敷地面積	18,823 m <sup>2</sup>	作成者	香山壽夫建築研究所
建築面積	2,692 m <sup>2</sup>	確認日	2020年1月23日
延床面積	4,912 m <sup>2</sup>	確認者	佐伯和俊



<b>2-1 建築物の環境効率(BEEランク&amp;チャート)</b>	<b>2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート</b>	<b>2-3 大項目の評価(レーダーチャート)</b>
<p>BEE = 1.3 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆☆ 100%☆☆☆☆ 100%超☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

<b>2-4 中項目の評価(バーチャート)</b>		
Q 環境品質 <b>Qのスコア= 3.4</b>		
<b>Q1 室内環境</b> <b>Q1のスコア= 3.2</b> 	<b>Q2 サービス性能</b> <b>Q2のスコア= 3.7</b> 	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <b>Q3のスコア= 3.3</b> 
LR 環境負荷低減性 <b>LRのスコア= 3.1</b>		
<b>LR1 エネルギー</b> <b>LR1のスコア= 3.5</b> 	<b>LR2 資源・マテリアル</b> <b>LR2のスコア= 2.9</b> 	<b>LR3 敷地外環境</b> <b>LR3のスコア= 2.9</b> 

<b>3 設計上の配慮事項</b>		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
町民の心の拠り所となり、立寄りたくなる場所として行政、議会機能の充実を図ると共に町民交流空間を整備したまちづくりの拠点となる庁舎の計画。京丹波町の豊かな自然の恵みを身近に感じられるよう、外装や内装、構造材に京丹波産木材を利用。町民に永く親しまれるよう、京丹波町の風土に調和する意匠とした。町を守る拠点とするため、災害に強く安心安全な構造とし、防災設備を整備した。		地場産材(京丹波産材)を活用した木造庁舎。地元の木、地元の方で建設することで地場産業の活性化につなげている。
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
居室については、外気処理機及び空調機にNBS65%の除塵機を設置。2Fの執務空間は気積が大きいため、居住域空調を採用。	トイレ等、利用者の集中する床には汚れにくい材料を選定。	地域住民の活動の場、コミュニティ形成の場、として建物の寄り付きやすい位置に交流ラウンジを設置。車での交通手段が主流のため、駐車台数にゆとりをもたせた計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
太陽光発電システムを採用。	節水コマ、自動水栓、節水便器、人感センサー小便器を採用。	雨水排水の区減をおこなうため、駐車台下(地中)に雨水貯留層を設置。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい